

管 理 会 計 論

本試験

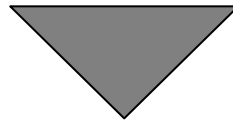
問題 12 原価企画に関する次の記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。（5点）

～ 略 ～

ウ．許容原価は見積販売価格から目標利益を控除して算定されるのに対して、成行原価は技術的な観点から原価が見積もられるため、成行原価の方が技術者にとって達成困難な目標を課されることが多い。

《解答 12》

ウ．誤 誤った記述である。成行原価は現行の技術水準で達成可能な水準の原価であり、トップマネジメントの意向を反映した許容原価よりも達成が容易であるのが通常である。



短答ポイントアップ答練 第 4 回

問題 13 原価企画に関する次の記述のうち、誤っているものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。（6点）

～ 略 ～

イ．目標原価を設定する際、エンジニアの見積りを基礎とする積上げ法を採用すると、エンジニアに過度の負担を強いることになりがちである。

《解答 13》

イ．誤 本肢の記述は誤りである。目標原価の設定方法として積上げ法を採用する場合には、エンジニアの見積り(成行原価)を基礎とするのであるから、むしろその理解や同意を得やすいという特徴がある。エンジニアに過度の負担を強いることになりがちなのは、目標原価に技術的な裏付けがなく、達成のためには多くの原価低減努力を要する場合であり、それは目標販売価格から目標利益を控除する控除法を採用する場合である。